

## <イレッサ> 副作用死706人 厚労省公表

6月1日 17時22分配信 [毎日新聞](#)

厚生労働省は1日、肺がんの抗がん剤「ゲフィチニブ(商品名イレッサ)」について、02年7月の販売開始から今年3月末までに国内で1797人の副作用が製造販売元のアストラゼネカ社に報告され、706人が急性の肺障害で死亡したと公表した。小池晃参院議員(共産)の質問主意書への答弁書で明らかにした。

.....

## イレッサ副作用死706人 02年7月の販売開始以降

2007年6月1日 東京新聞

<http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2007060101000270.html>

肺がん治療薬イレッサ(一般名ゲフィチニブ)の投与による副作用と疑われる症例が、2002年7月の販売開始から今年3月末までに1797件報告され、死亡が706人になったことが、厚生労働省のまとめで1日、分かった。

小池晃参院議員(共産)の質問に対する答弁書で明らかにした。

2006年度の1年間で、イレッサの副作用とみられる症例は166件、死亡は63人増えた。05年度と比べると症例、死亡のいずれも8件の増加。

輸入販売元のアストラゼネカ(大阪市)からの急性肺障害や間質性肺炎の副作用報告を基に集計した。

厚労省は答弁書で「イレッサを使用したことで重大な副作用が発現することがあると認識している。今後も業者からの報告などにより知見を集積、内容を踏まえて安全対策を講じたい」としている。